

神戸大学・中国地質大学(武漢) 2007 年崗日嗄布(カンリカ・ルポ) 山群偵察隊計画書



ルオニイ峰

神戸大学山岳部·山岳会 2007年9月



はじめに

神戸大学山岳会は1986年、チベットとブータンとの国境近くのクーラカンリ峰(7554m)の初登頂に成功し、さらに、88年には中国地質大学(武漢)山岳部と神戸大学山岳部との合同で、四川省の雀児山(チェルー山)初登頂に成功しました。

さらにインド、ビルマ国境に近い崗日嗄布山群の若尼峰(ルオニイ峰)初登頂を計画し、2002年に同山群へ偵察隊を派遣し、2003年にはチベット登山学校の生徒と拉古村民の協力を得て、若尼峰の登頂を試みましたが、長期間の悪天のために登頂を断念しました。

この山群は長らく外国人の立ち入りが制限されていたため、この地域に存在する高峰の大部分が未踏峰であり、地理的にも未知の部分が多く、たいへん魅力的な地域です。その後、この 崗日嗄布山群の研究をさらにすすめると、若尼峰と同程度の高峰が他に2峰あることがわかりました。(我々はこの3つの峰を3姉妹峰と呼ぶこととしました)

そこでこのたび、神戸大学山岳部・山岳会は、2007年秋に、再度崗日嗄布山群の最高峰を確認し、登路を偵察する計画を立て、現在準備をすすめております。

一方2008年はチェルー山初登頂の20周年という記念すべき年に当たります。このことを記念して、2008年には中国地質大学(武漢)と合同で、崗日嗄布山群の最高峰やその姉妹峰へ登山隊を派遣したいという計画を考えております。

この登山計画を中国地質大学(武漢)山岳部と合同で行うことを通して、日中友好をより一層深めることができれば嬉しく思います。

本計画に格別のご支援を賜りますようよろしくお願いします。

2007年9月

神戸大学山岳部部長 乙藤洋一郎 神戸大学山岳会会長 井上達男



1. 隊の名称

神戸大学・中国地質大学崗日嗄布(カンリガルポ)山群偵察隊

2. 目的

崗日嗄布山群 3 姉妹峰の比高確認及び周辺地形調査

- 3 姉妹峰の登路観察
- 2008年本隊に向けた現地状況の確認
- <偵察活動方針>
- ア 3姉妹峰がすべて望見可能な山麓地点(概念図エリア 、 を予定)より三角測量により比高の測定と写真撮影により最高峰を確認する。
- イ Ata 氷河にベースキャンプ、前進キャンプ(C1)を進め、氷河上(エリア 、)より3姉妹 峰の登路観察と写真撮影を行う。
- ウ アタカンラ(エリア)よりルオニイ峰の登路を確認する。 ただし、天候条件等によりア、イ、ウすべての偵察活動ができない場合は上記の順に優 先する。
- 3. 期間(予定)

2007年10月25日 11月27日

4. 行動予定

関空 - 武漢 - 昆明 - 中甸(飛行機)(2日)

中甸 - 然烏 - 拉古(車)(3日)

偵察活動 (実働 11日 高度順応、予備日12日)

エリア にて三姉妹峰ならびに周辺ピークの撮影および測量(1日)

エリア にて三姉妹峰ならびに周辺ピークの撮影および測量(2日)

BC - C1(ルート工作、荷揚げ3日、移動1日)

エリア にて写真撮影、ルート確認(1日)

エリア にて写真撮影、ルート確認(1日)

エリア からの写真撮影、C1 - BC - 拉古(2日)

拉古 - 然烏 - 中甸(車)(4日)

中甸 - 昆明 - 関空(飛行機)(2日)

偵察活動の「エリア 、 、 、 」については、下記概念図を参照のこと



5. 隊の構成

(日本側) 隊長 山田健 兵庫県職員 52歳

(1986年神戸大学チベット学術登山隊隊員)

副隊長 矢崎雅則 兵庫県職員 32歳

隊員 近藤昂一郎 神戸大学理学部学生 21 歳

隊員 岩澤貴士 神戸大学発達科学部学生 21 歳

(中国側) 隊長 董范 中国地質大学教授 46歳

(1988年神戸大学中国地質大学合同雀児山登山隊隊員)

 隊員
 牛小洪
 中国地質大学職員
 39歳

 隊員
 周云
 中国地質大学職員
 36歳

 隊員
 石磊
 中国地質大学学生
 27歳

合計 8人

6. 予算

約4,000千円 (日中で負担)

7. 実行委員会本部(仮)

井上達男 523-0894 滋賀県近江八幡市中村町 37 - 10 ウインズ 22 111号 電話・ファックス 0748 33 9359

電子メイル sherpikangri@aol.com

8.位置図





9. 概念図



